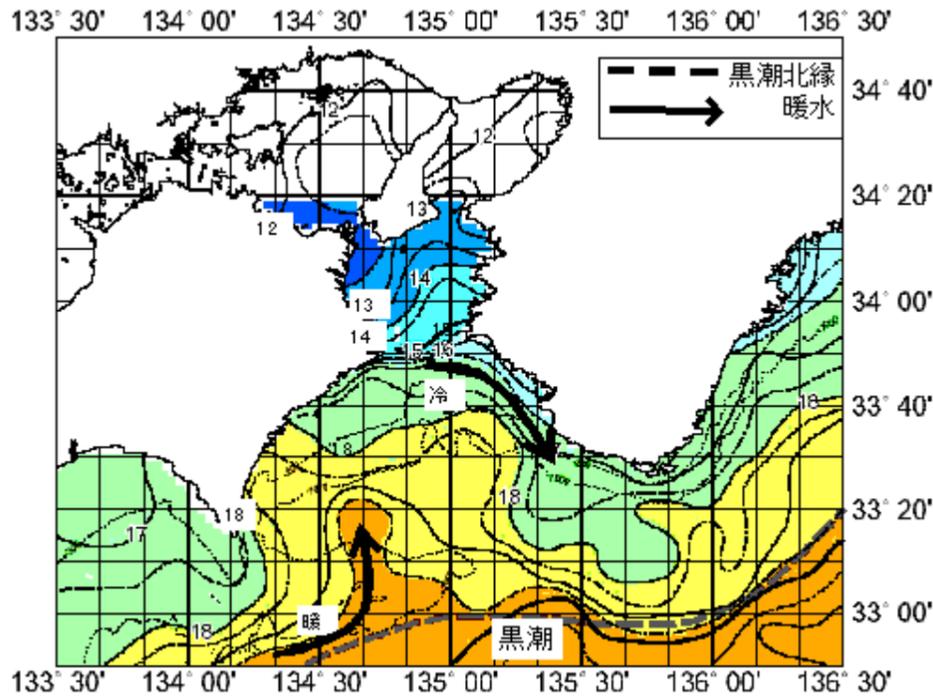


1. 海況の経過

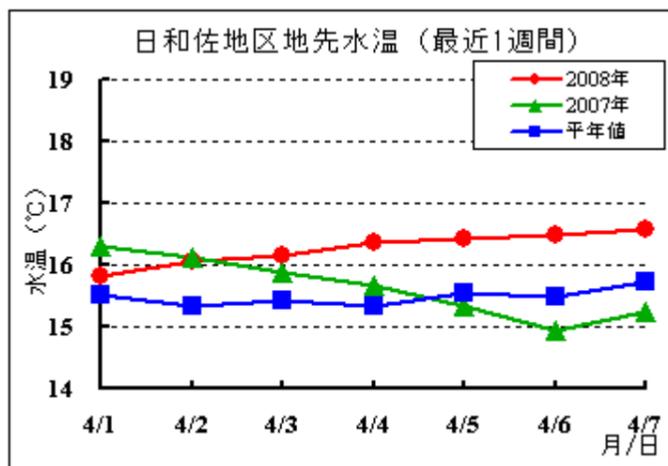
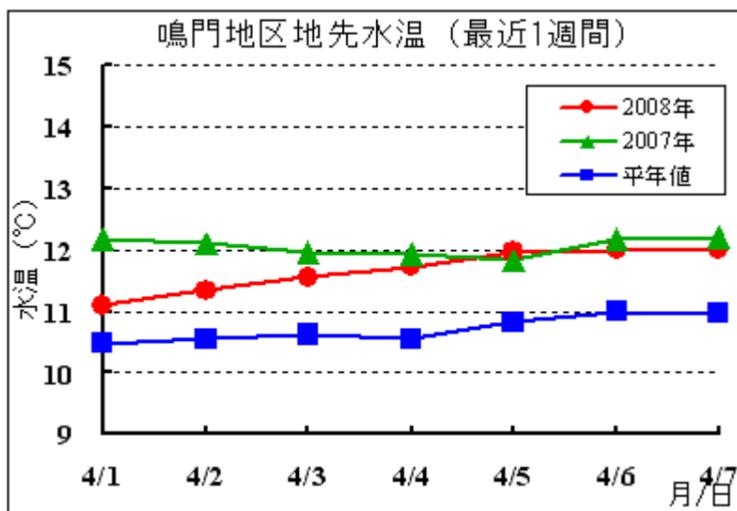


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.04.07)を示した。黒潮は室戸岬沖でかなり離岸し、潮岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は19～20℃台である。表面水温は播磨灘が12℃台、紀伊水道内部が12～15℃台、外域が15～18℃台である。室戸岬沖から海部沿岸へ18℃～19台の暖水が流入している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の11.1～12.0℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の15.8～16.6℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の16.1～17.9℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にアマダイが0.3トン(1日1隻あたり14kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.4トン(同5kg)、カタクチイワシが1.7トン(同84kg)、大主体にキビナゴが1.7トン(同31kg)、タチウオが0.8トン(同37kg)、小主体にマアジが0.5トン(同9kg)、マルアジが0.5トン(同38kg)、マルソウダが0.6トン(同36kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、マルソウダが1.4トン(同461kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、中主体にカツオが1.2トン(同23kg)、タチウオが0.3トン(同20kg)、メジロが0.3トン(同10kg)、紀伊水道で特大主体にタチウオが0.6トン(同27kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが9.2トン(同158kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 03月31日～04月06日 県下5漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	19	271	14	大主体
小型定置		アオリイカ	85	407	5	
		カタクチイワシ	20	1,678	84	
		キビナゴ	53	1,655	31	大主体
		タチウオ	21	782	37	
		マアジ	40	362	9	小主体
		マルアジ	14	525	38	小主体
		マルソウダ	16	583	36	
大型定置網		マルソウダ	3	1,384	461	
釣り		カツオ	51	1,177	23	中主体
		タチウオ	15	303	20	
		メジロ	34	330	10	
		紀伊水道	タチウオ	22	597	27
パッチ網			シラス	58	9,150	158

週間予報:

黒潮は、室戸岬、ともに潮岬でやや離岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の12℃台、日和佐地先で「やや高め」の16℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の曳き縄で、カツオが24.7トン(1日1隻あたり33kg)、ビンナガが0.7トン(同0.9kg)、定置網で、ブリが51トン(同3.2トン)、ワラサが81トン(同5.1トン)、マアジが4.8トン(0.3kg)、パッチ網でシラスが85トン(同0.9トン)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上